

蕨 広報WARABI 8

2011/平成23年
わらび・720

- 平成23年8月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 7月1日現在人口：72,901人 前月比 +55人
男 37,124人 女 35,777人
世帯数：36,285
人口密度：14,294人/km²



東公民館は1階ラウンジを開放中

公民館へ涼みに来ませんか 「クールオアシス」実施中！

「せ〜の」と元気な声と笑顔が広がるのは、中央公民館で行われた打ち水です。この夏、全公民館で節電と熱中症予防のため、「まちのクールオアシス」事業を実施中。講座や音楽会、教室開放などめじろ押しです。ぜひ、涼みながら学びを深めませんか。詳細は各公民館へ。

——— 目 次 ———

- 平和への思い伝えたい…… 2
- まちの話題…………… 5
- この数な〜に…………… 5
- 親と子のニュースの小窓… 6
- ほっと・エッセイ…………… 7
- 蕨市アウトメディア宣言… 7
- 輝いていま ひと…………… 8
- 中山道まち歩き…………… 8



座間味島を見守る地藏尊

は、「捕虜としてでも生きていてよかった」と、命の有り難さを実感しました。それと同時に、座間味島の住民を絶望の底に突き落としてしまった罪悪感にさいなまれました。この心の痛みは、死ぬまで消えないでしょう。

そんな気持ちもあって、昭和57年6月、有志の皆さんと「座間味地藏尊」を建てました。亡くなったかたの供養とともに、島の人たちを守ってほしいとの願いがこめられています。私は運よく生き残ることができましたが、「なんであんな戦争をしたのか」「少しでも早く

おほはま ます子 さん
大濱 ます子 さん
北町3丁目・75歳

東京中が震えた一夜

昭和19年の11月以降、東京への空襲が続く、私が住んでいた台東区も攻撃を受けていました。空襲警報の度に、自宅の玄関にある防空壕に隠れる

日本が降伏していれば、救われた命があったはず」と考えると、憤りを感じます。戦争のない、平和な世の中になってほしいと、心から願っています。

毎日でした。日本の戦闘機がB29に体当たりする姿を何度も見ましたが、B29はバランスを崩すだけ。アメリカとの差を痛感させられました。

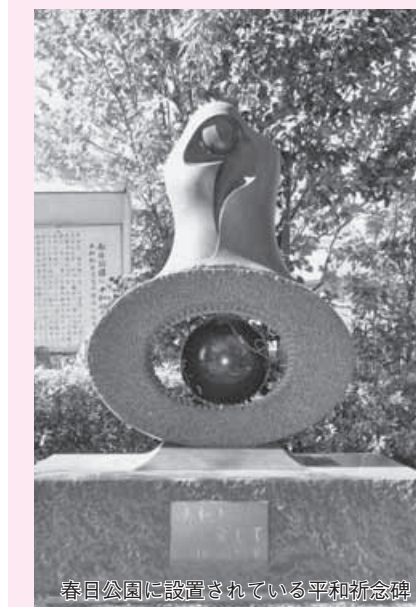
そして、昭和20年3月の東京大空襲。当時私は小学2年生でしたが、あの光景は、脳裏に今もしっかりと焼き付いています。300機を超えるB29による爆撃は、3月9日から10日に日付が変わった頃に始まりました。近くの学校の講堂に避難しようと外に出ると、既に辺り一面が炎に包まれていました。火の粉が舞うなか、生後1か月の弟をおぶって、更に2人の妹の手を引く母の後を、姉といっしょに追いかけてきました。「離れたら死んでしまう」と、必死でした。講堂の目の前で私は転倒してしまいました。誰かが助けてくれたため、なんとか中に入ることができました。数秒後には扉が閉め切られたため、まさに危機一髪でした。ほっとして、ガラス越

しに墨田川を眺めると、たくさん死体が浮いているのが見えました。川に逃げ込んだ人の溺死体でした。まだ寒さの残る3月でしたので、凍死した人もいたようです。川沿いにも煙や火の粉に巻き込まれた人たちが重なり合うように倒れていて、思わず目を覆いました。

生きた心地のしないまま明け方を迎え、表に出ると、辺りにあったはずの建物ほとんど焼失し、まちは一夜の間に焼け野原になっていました。そんな悲しい光景を目の当たりにした私は、あまりのショックに、涙すら出ませんでした。

過去の過ちを教訓に

今年の3月11日の東日本大震災では、たくさんのかたが亡くなりました。自然の前では人間は無力ですが、人と人との争いである戦争は防ぐことができるはず。1人1人が平和について考え、二度と同じ過ちを繰り返さないよう願っています。



春日公園に設置されている平和祈念碑

昭和60年9月9日 蕨市

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

平和都市宣言

戦争のない 平和な世界へ

平和都市宣言(3ヶ囲み)の制定から25周年を迎えた昨年。市では、平和への誓いを発信し続けようと、蕨駅前に平和都市宣言塔を設置しました。終戦から今年で66年。過ちを繰り返さないためにも戦争の悲惨さを風化させてはいけません。今月は、沖縄県座間味島に駐屯していた野村盛明さんと、東京大空襲で戦災に遭った大濱益子さんの体験談をご紹介します。



昨年9月、蕨駅西口駅前広場に設置した蕨市平和都市宣言塔

のむら もりあき 野村 盛明 さん
錦町6丁目・92歳

座間味島が火の海に

沖縄本島の西にある座間味島に日本陸軍部隊が上陸したのは、昭和19年9月10日のことでした。駐屯したのは海上挺進第一戦隊。爆雷を装備したベニヤ製モーターボート1艇で敵の船1隻を撃沈させる、いわゆる特攻を任務とする部隊です。私はその衛生班長でした。

翌年3月下旬になると、アメリカ軍による空襲が激化しました。まず、空からガソリンをまき散らされ、そこに焼夷弾が落とされました。たちまち島全体が火の海に。私は防空壕の中にいたため、九死に一生を得ましたが、燃え盛る炎の音と爆発音、更には戦艦からの艦砲射撃による地響きのなか、ただ隠れて震えることしかできませんでした。海

を見ると、周りの島も炎に包まれていました。

悲しすぎる集団自決

そして、アメリカ軍が座間味島に上陸する前日の3月25日の夜から、集団自決が起こりました。この頃は、アメリカの軍艦が沖を埋め尽くし、水平線が見えないほどで、まさに絶望的な状況でした。誰もが恐怖心でいっぱいだったのでしょうか。177人もの住民の命が集団自決によって犠牲になったことに、今でも胸が痛みます。

その後も激しい戦闘が続く、部隊内でも、「玉砕」についての意見が交わされ、「急いで死ぬ必要はない」との結論に達しました。結婚したばかりだった私も、「死ぬわけにはいかない」と、心に決めていました。

しかし、しだいに戦局が悪くなると、部隊は離れ離れになり、少しずつ人数が減っていき、4月下旬には、部隊解散の命令が出されました。既に



野村さんが過ごした牧港収容所

食糧もなく、葉っぱや木の根を食べたり、アメリカ軍が海に捨てた食べ物を拾ったりする以外に、飢えをしのぐ方法はありませんでした。なんてしても生き延びるために、とにかく逃げようと、ひたすら歩きました。

そして、6月8日。アメリカ軍に投降し、捕虜になりました。銃を突き付けられて、両手を上げながらも、今振り返ると、内心はほっとしていたように思います。

終戦後も癒えぬ痛み

身柄を沖縄本島に移され、8月15日に、牧港収容所(まきみなと)で終戦を知ったときに



ファラズ
アハマドさん

この
まちに
暮らして

ま・ち・の・話・題

西公民館の日本語教室に通うファラズさんは、パキスタンのラホール市出身です。仕事を求めている4年前に来日し、昨春秋に蔵へ越してきました。友人の紹介で通い始めた教室では、「少しずつ漢字を覚えるのが楽しい」と話します。でも、そんな教

室も今月からはお休み。東日本大震災の被災地・福島県へ復興作業で出張するからです。6年前のパキスタン地震では被災地へ救援物資を届けた経験があるファラズさん。「1日も早く町が元どおりになるようがんばります」と語ってくれました。

この数な～に 8万ユーロ

子どもたちの支援をしたい。蔵市と友好都市を結ぶドイツ・リンデン市では、東日本大震災の復興支援のため、募金活動などを実施。8万ユーロ、約900万円もの義援金が寄せられました。支援先は、人口約1万6,000人(震災前)と、リンデン市と同規模であること、また、小さな町は義援金の配分が少ないのではと考え、宮城県山元町に決定。リンデン蔵市民交流協会理事のフォロイント・ミヒャエラさんが来日し、7月19日、頼高市長や交流協会の皆さんと同町を訪れ、齋藤俊夫町長に思いを届けました。



齋藤町長(中央)に目録を渡すミヒャエラさん、頼高市長ほか蔵・独リンデン市民交流協会の皆さん(右から2人目・笠井会長)

深谷市在住の日本画家・合田芳弘さん(72歳)は、歴史ある街並みを後世に伝えようと、同市から日本橋まで、中山道約80キロの風景を絵巻に描いています。3月8日から6月24日まで活動した蔵市分だけでも絵巻は約70メートルに及びます。目標の日本橋へは来春に到着予定です。

全長4*の絵巻制作中



願いよ届け七夕の催し



7月7日の七夕の日、南町児童館で乳幼児クラブ合同の「たなばた会」が開かれました。0歳から3歳までの親子62組は、市内在住の工藤中乃さんによる手品や七夕にちなんだ紙人形劇を楽しんだ後、7歳の大きな笹に、願いをこめた短冊をつるすなどして交流を深めました。

彩り鮮やか夏の風物詩



塚越商店会主催の「あさがお&ほおずき市」が、7月9日と10日に東口一番街で開かれました。赤や青など色鮮やかなアサガオとホオズキ300鉢が並んだ会場では、大道芸や世界各国の料理が味わえるワールドマーケットなどもあり、3万人が夏の風物詩を楽しみました。

わらびりんごパイ作り



7月13日、さつき保育園の年長組(30人)が同園で収穫した、日本一早く実る「わらびりんご」50個でパイ作りに挑戦。甘酸っぱいりんごを生地に包み、キツネ色になると完成です。園児たちは、焼きたてを「わらびりんごの会」の皆さんと味わい、満面の笑みを浮かべていました。

新議長に今井氏を選出



池上智康副議長 今井良助議長

7月25日、蔵市議会臨時会は、議長に今井良助氏、副議長に池上智康氏を選出。今井氏は、平成11年初当選。4期目。新生会。市議会議長などを歴任。中央2丁目在住。71歳。池上氏は平成19年初当選。2期目。新生会。市議会副議長などを歴任。北町3丁目在住。55歳。

民館 月15,000円(平井・43・5439) 土曜ダンス教室 第13土曜 午後1時半 中央公民館 月2,000円 初心者大歓迎 戸田・44・3337 親子カンファ体験 ①20日 午前10時 中央東小学校 ②26日 午後3時 芝園公民館 いずれも500円(高橋・080・6690・2121) (ご相談ください) 蔵断酒会(酒害相談) 2日 中央公民館 10日 南公民館 18日 旭町公民館 午後6時半 岡田・441・3172

平和特集②：各種行事案内

参加してみませんか 「平和を願う催し」

ここ4分では、公民館や歴史民俗資料館などで開催される平和事業をご紹介します。パネル展やコンサート、講演会などを通して、平和や戦争について考えるよい機会です。ぜひご参加ください。



平和の母子像(市民公園)

公民館などの催し

●中央公民館 平和パネル展「いわさきちひろ 平和への願い」 11日(土) 25日 詳細 同館(☎432・2530) ●東公民館 平和で豊かな社会を願う蔵市民のつどい 6日(土) 午前9時 蔵市民公園 平和の母子像清掃活動ほか 問い合わせ 同館(☎442・4052) ●西公民館 平和紙芝居展 12日まで 読み聞かせ・すいとん試食 5日(金) 午前10時半 問い合わせ 同館(☎442・4054) ●南公民館 広島パネル展 5日まで 問い合わせ 同館(☎442・4055) ●北町公民館 平和について今、考えてみよう 10日(水) 午前9時半 紙芝居、講演会「くじらからみた平和」、コンサート、くじら肉試食会 ※講演会、試食会には要申し込み 子どもからみた平和パネル展 10日(水) 19日 問い合わせ 同館(☎432・2225)

●下蔵公民館 写真パネル展 8日(土) 26日 「紛争下の子どもたち」ユニセフの活動からみえてくるもの 映画会 17日(水) 午後1時半 「火垂るの墓」無料 平和紙芝居「おかあさんのうた」展示 7日まで 29日(土) 31日 問い合わせ 同館(☎441・1560) ●旭町公民館 がんばろう！日本 11日(木) 午前11時 防災の話、紙芝居、絵本、災害時の食事体験 30人(先着順) 申し込み・問い合わせ 同館(☎432・4053) ●福祉・児童センター 戦争をかたる 11日(木) 午後2時 戦争体験者が語る戦時中の様子など 小学生以上 詳細 同センター(☎431・7300) 平和祈念の黙祷 広島市で6日、長崎市で9日に原爆死没者の追悼と平和への祈りをこめた式典が開かれます。また、15日の終戦記念日には、政府主催の全国戦没者追悼式が開かれます。蔵市も平和宣言都市とし

て、これらの式典に合わせ、6日(土)は午前8時15分から、9日(火)は午前11時2分から、15日(月)は正午から敬虔な黙祷がささげられるよう、防災行政無線で呼びかけを行います。1分間の黙祷をささげましょう。詳細 庶務課(☎433・7705) 歴史民俗資料館 第22回平和祈念展 戦中・戦後の食とくらし 9月25日まで 開館 午前9時 午後4時半 休館日 月曜日と9月20日・23日 戦中・戦後の物資が不足した時代に登場した代用食や代用品を中心に、人々の暮らしを紹介 詳細 歴史民俗資料館(☎432・2477)

昭和15年の雑誌を参考に作られた代用食のサンプル 掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。 (差し上げます) 液晶テレビ用上乗セラック未使用 取りに来てくれる人へ 吉田・443・1678 (見に来ませんか) 川口交響吹奏楽団第15回定期演奏会 9月4日 午後1時半 市民会館 青木・090・5434・4598 (仲間になりませんか) 英書を読む会 金曜日 午後1時半 中央公民館 月50円 高橋・432・4498 南町基クラブ 火曜日 午前10時 南公民館 無料 井上・442・0259 楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蔵東口駅前 ラ・セーヌビル 月450円 浦島・224・5915 蔵水曜日 午後2時半 旭町公民館 年300円 長谷川・431・2541 わらびシニアパソコンクラブ 第13水曜日 午後1時半 加藤文具店(中央東小学校隣) 月2000円 10月6日 開講 小堀・444・6992 太極拳園松会 月曜日 午前9時半 文化ホール くるる 月2000円 石井・080・1353・7936 図書館 月1回土曜日 午後1時 旭町公民館 月400円 田中・431・2959 北町ヨীগシャントイ 水曜日 午後1時半 北町公



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は4日。9月は1日です。
時間は午後1時～5時を予定
しています。
ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へ

この度、蕨市の友好都市で、30年以上にわたり市民交流が続いているドイツ・リンデン市から、東日本大震災の被災地へ8万ユーロ(約900万円)もの義援金が寄せられました。人口約1万2000人の小さな都市からの友情あふれる大きなご支援に感激しました。

義援金は、リンデンの皆さんの意向により、小さな自治体で、津波などの被害が大きかった宮城

ほっと・エッセイ 42

ドイツ・リンデン市から被災地へ900万円もの義援金
市長 頼高英雄

県山元町の子どもたちに送られることになり、先月19日に、リンデン特使のフロロイント・ミヒャエラさん、蕨・独リンデン市民交流協会の皆さんと

蕨市アウトメディア宣言

- 一、乳幼児期は、特に、電子メディアとの接触をひかえましょう。
- 一、食事の時は、テレビを消して、家族がふれあう時間にしましょう。
- 一、テレビ、パソコン、ゲーム等の使用は時間をきめましょう。
- 一、子どもに携帯電話を持たせる場合は、ルールをきめましょう。
- 一、アウトメディアで、人間愛にあふれ、こころのふれあう家庭や、地域をつくりましょう。

平成二十三年七月十六日

近年、テレビやゲーム、パソコン、携帯電話など、電子メディアと長時間接触する生活が、子どもたちの心と体の成長に深刻な影響を及ぼすとともに、犯罪に巻き込まれる危険性が指摘されています。

市では平成17年から、子どもたちの電子メディア漬けの生活を見直そうと、アウトメディアを推進してきました。

わが家のアイドル

「蕨に里帰りして生まれた羽香は生後3か月のとき、全身の血管に炎症が起る原因不明の難病・川崎病に…。以来、実家で経過観察が続いています。病と闘いながらも少しずつ成長を見せる羽香。長崎県にいる夫にはその様子をインターネット動画で伝えていきます。最近、はいはいができるようになり、カーテンに隠れて遊ぶように。『見つけた』と裾をめくるとうれしそうに笑います。1日も早く病気を治そうね」と健康を願う母親の絵美さん。

うみ か 羽香ちゃん (10か月)
いけだ ひではる 秀春さん 絵美さんの三女
北町2丁目 -472-

防災一口メモ



放射線量は基準値以下

測定場所	1時間当たりの測定値	年間換算値
保育園 6園	0.051～0.115 ^μ シーベルト	0.27～0.60 ^μ シーベルト
小学校 7校	0.062～0.094 ^μ シーベルト	0.33～0.49 ^μ シーベルト
中学校 3校	0.068～0.096 ^μ シーベルト	0.36～0.50 ^μ シーベルト
公園 11か所	0.060～0.127 ^μ シーベルト	0.32～0.67 ^μ シーベルト

測定値は2回目(7月15日、21日、22日に測定)。保育園、小学校、公園は地上5^μ、50^μ、1^μ、中学校は地上5^μ、50^μ、1^μ、1.5^μで測定。

高齢者の困り事 ボランティアが支援 「くらしのサポート」事業

蕨市にぎわいまちづくり連合会では、高齢者の支援や地域の活性化などを目的に、手助けが必要な高齢者の困り事をボランティアがお手伝いする、「くらしのサポート」事業を6月からスタートしました。そこで今月は、同事業の概要をご紹介します。

親と子の ニュースの小窓



手助けが必要な高齢者の困り事支援

ワラビ お隣のおばあちゃんだ。何してるの？利用者 おやワラビ。毎日、暑い日が続いてるでしょ。でも、電気の使用もできるだけ控えたいから、緑のカーテンを作ろうと思ってね。よく利用する商店に相談したら、「くらしのサポート」を教えてくれて。今、ボランティアを待っているところなの。ボランティア ごめんください。利用者 お待ちしています。ワラビ 「くらしのサポート」って？ボランティア 私たちは、蕨市にぎわいまちづくり連合会に登録しているボランティアです。この事業は、高齢者の困り事をサポートする事業なんです。ワラビ へえ。どんなことをしてくれるの？ボランティア 午前9時～午後5時の間で、買い物や電球の交換、草むしりなど、公的サービスでは対応できない、ほんのちよつとした困り事をお手伝いしているんだよ。ワラビ いろんな依頼がありそうですね。スタッフは何人いるんですか？ボランティア 現在25人が登録されています。中には70代後半のかたもいて、元氣な高齢者の介護予防にもつながると期待されているんだ。では、作業を始めますね。

地域活性化にも貢献！ぜひご利用を

利用者 お疲れ様でした。それでは1時間なのでチケット2枚お渡しします。ワラビ なーにそれ？利用者 「くらしのサポート」よ。ボランティアをお願いする場合は、まち

1枚で30分のサービスが受けられるくらしサポート(右)と、くらしの商品券(左)

援助が必要な人に提供できるサービス内容

買い物代行	ごみの梱包及びごみ捨て	部屋の掃除、電球交換など
話し相手や見守り	外出(通院、買い物など)の付き添い	草むしりや庭の手入れ

※他にもさまざまなサービスがありますので、お気軽にご相談ください。

ネットでは何ができるの。ボランティア 私たちが活動の対価としていただくチケット1枚で、現在174店ある加盟店で買い物ができる、250円分の「くらしの商品券」と交換できるんだよ。ワラビ なるほど。地元で買い物をして、地域活性化にもつなげるしくみなんだね。ボランティア そうだよ。

難しい言葉を知ってるね利用者 とっても助かりましたわ。ボランティア こちらこそ。ぜひ皆さんに利用していただきたいです。また、ボランティアも楽しく活動しますので、仲間が増えたらうれしいですね。

申し込み・詳細(社)蕨市にぎわいまちづくり連合会事務局(中央1-815 ☎420・2777)

ひと 輝いています

陸上400^{メートル}、800^{メートル}で全国大会出場

あら き こう いち
荒木 孝一 さん

今

月19日から奈良県で開かれる第38回全国中学陸上に、400^{メートル}と800^{メートル}の埼玉県代表として出場する、第一中学校3年生、荒木孝一さん(南町2丁目・14歳)。陸上競技での全国大会出場は、同校初の快挙です。歩き始めると同時に家中を走り回っていたというほど走ることが大好きな荒木さん。持つて生まれた素質は小学校の持久走大会で明らかに。卒業までの6年間、全レースで1位だったそうです。そんな荒木さんが本格

的に陸上を始めたのは小学4年生のとき。上尾市の陸上クラブに入り、持ちまえの持久力に加え、瞬発力にも磨きをかけます。

長距離走者として順調に歩んでいた荒木さんでしたが、中学2年生のとき、突然のスランプが……。練習しても記録が全く伸びず、「むしろ1年生の頃より遅くなっていました」と苦笑い。それでも、「走ることが好きだから」と、ひたむきに練習に打ち込んだ荒木さんは思い切って中距離へと種目を変更。悩んだ末の決断は陸上に対する意識も変えました。以来、野菜嫌いを克服したり、一流選手の走り方を研究したりするなど余念がありません。

こうしてつかんだ全国への切符。特に自己ベスト1分59秒05を更新すれば入賞の可能性が高い800^{メートル}の走りは注目です。400^{メートル}トラック2周目最後の直線。スタミナが切れスピードが落ちていく選手を横目に、中位からごぼう抜きする荒木さんの走りが全国の舞台でも見られることでしょう。



表彰台の頂を目指し駆け抜ける

中

山道の宿場町として栄えた蕨は、

現在も江戸時代後期から昭和初期の建物が点在しています。その街並みを残そうと、地域の皆さんが主体となり、平成3年「中仙道蕨宿まちづくり協議会」が発足しました。住民間で締結した「中仙道蕨宿まちなみ協定」を中心に蕨の歴史文化軸にふさわしい環境づくりを努めている同協議会。昨年には歴史的・文化的資源の高い12件の建築物を景観建築物に指定するなど積極的な活動を行っています。市では、そんな活動を助成制度の制定や拡充、街

並みの整備などで支援をしています。描かれているのは、景観建築物に指定されている、中央5丁目の鯨井商店です。明治30年築の木造の建物は、瓦屋根に茶色の壁という外観になっています。漬物を取り扱う同店は、昭和35年、店主が商売を始めるために、八百屋だった店舗を買い取ったものです。以来50年間、べったら漬けやハクサイ、シヨウガなどの漬物を販売したり、市場へ卸したりしています。写真は現在の様子です。昨年、助成制度を利用して屋根や外壁の一部を修繕した建物は、歴史的な雰囲気を感じられます。

中山道まち歩き

No.4

中央5丁目の漬物店

Check!

夫婦ともに蕨の出身ではありませんが、50年前、趣のある建物に一目ぼれをして、商売を始めました。今では、蕨の歴史ある街並みに愛着を持っています。



中央5丁目
くじら ゆうこ
鯨井 勇六さん



とう ま げんいちろう
絵／當摩 源一郎さん

